

The Japanese  
Society of  
Practitioners for  
Pediatric Dentistry

# JSPPP

【入会方法】 JSPPPのHP (<http://www.jspp.net/>) より入会資料請求フォームに記載の上、ご請求ください。  
年会費10,000円、入会金 10,000円

## 「チルドレン・ファースト」

JSPPP理事

田中 英一

(田中歯科クリニック、東京都中野区開業)



「チルドレン・ファースト」数年前に知った言葉です。私は、全国小児歯科開業医会（JSPPP）が発足した平成元年に入会し、20年が経過しましたが、会員約350名を「繋ぐ・つなぐ」でいるのは、この言葉の思いではないかと、最近、強く感じています。

読めば意味を感じ取れる言葉ですが、あらためて調べてみました。少子化対策の提言として公明党が2006年に発表した「少子化社会プラン」の中で取り上げられてから、使われはじめた言葉のようです。そこには、「子どもの幸せ」や「子育ての安心」が確保される社会こそ、国民すべてにやさしい社会であり、子育てを社会の中心軸に位置づけ、社会全体で支援する「チャイルド・ファースト」（子ども優先）社会の構築を目指す」と書かれています。もっとも、イギリスでは、100年以上前から同名の組織が活動しているようです。

政府が平成22年に閣議決定した、今後の子育て支援の方向性についての総合的なビジョンである「子ども・子育てビジョン」の冒頭にもこの言葉が掲げられています。子どもと子育てを応援する社会に向けての3つの構想が提示され、その第一が「子どもが主人公（チルドレン・ファースト）」です。他の2つは、「少子化対策から子ども・子育て支援へ」と「生活と仕事と子育ての調和」です。全体を通じて、子どもを大切にする社会をつくりたい、それはわたしたち人間すべてが子どもである時代を経て、大人へと成長する存在だからという思いが伝わってくる内容です。

考えてみると、わざわざ「チルドレン・ファースト」を掲げないといけないという社会が、今の子どもを取り巻く環境の劣悪さを表しているようにも思えます。我々、小児歯科に関わる歯科医師は、これまでもずっと「子ども優先」だったと思います。日々の診療では、子どもの意思を尊重しながら、子どもの育ちを応援してきました。診療室を出れば、地域の中でさまざまな保健活動に取り

組み、お母さん方を励まし、応援してきました。こうしてみると、政府のビジョンも、我々は先取りして子ども達のためにいろいろ活動してたことがわかります。

「世界中で日本ほど子供が親切に扱われ、子供のために多大な注意が払われる国はない。子供たちのニコニコした笑顔を観察すると、朝から晩まで幸せであるらしい。」えっと思うかもしれませんが、明治の初めに東大で教壇に立っていたアメリカ人動物学者の著作のなかに出てくる一節だそうです。

最近の子どもに関わる悲惨な報道をみていると、こんな時代もあったのかと思ってしまう。子どもは社会の希望であり、未来の力です。子どもの笑顔があふれる社会は個人の希望や夢を大切にする社会です。だからこそ社会全体で子どもと子育てを応援していくことが必要です。

JSPPPの会則をみると、第2条の目的に、「本会は小児歯科臨床の進歩を図り、小児の健康な生活を支援することを目的とする」とあります。20年以上前から、さまざまな「チルドレン・ファースト」の活動に取り組んできました。最近では、県単位で小児歯科医のネットワーク作りをお手伝いして、地域の小児歯科医療そして保健の充実をめざしています。医療費助成の情報交換を行い、子ども達が安心して医療を受けられる制度の整備にも声を上げています。

地域で小児歯科に熱い思いを持って仕事をされている先生方、是非、入会されてみませんか。そして、子ども達のために一緒に活動してみませんか。私たちの輪が広がれば、それは子ども達の健康な育ちに繋がります。「チルドレン・ファースト」をみんなで実現させましょう。

### JSPPPの活動

JSPPP（全国小児歯科開業医会）は小児の保健の向上と小児歯科臨床のより良い発展のための活動を行っています。

#### ①総会・研修会の開催

小児歯科臨床と小児の保健に関する研究会を開催し、会員相互の親睦とともに小児歯科医療保健の研鑽に努めています。

#### ②患者紹介ネットワーク

全国の会員をネットワークで結び、患者さんの紹介や情報の交換を行っています。

#### ③研究助成

大学や研究機関での研究を助成して、若い研究肩の育成に協力しています。

#### ④月刊「小児歯科臨床」の編集協力を行っています。